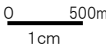
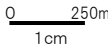


補足 地形図の使い方

○地形図の使い方①～縮尺と地図記号～

(**)とは、土地の高低や土地の使い方など、さまざまな地表面の情報を表した地図のこと
→地形図は国土地理院が発行

(***)とは、実際の距離を縮小した割合のこと
→地形図には、5万分の1や2万5千分の1などの縮尺がある

	5万分の1	2万5千分の1
縮尺		
地図上の1cmは、実際の距離では何mか？	1cm×50000 =50000cm =500m	1cm×25000 =25000cm =250m
1kmは、地図上では何cmか？	1km=1000m =1000m÷500m 答え 2cm	1km=1000m =1000m÷250m 答え 4cm

(***)とは、地形図で地形や建物、土地の利用状況などを表すための記号のこと

<おもな地図記号>

		◎		㍻	
∨		○		㍺	
○		◐		㍿	
∟		⊗		⊗	
∴		∟		⊕	
Q		⊕		📖	
△		⚙		🏠	
山		⚙		🏠	
∟		🏠		△	
个		●		◻	

※地図記号は国土地理院ホームページから引用。くわ畑と工場は 2013 年に廃止

○地形図の使い方②～等高線と断面図～

(***)とは、地表の同じ高さの所を結んだ線のこと

→等高線には種類があり、間隔が広いほど傾斜がゆるやかで、間隔が狭いと傾斜が急である

<等高線の種類>

	5万分の1	2万5千分の1	記号
計曲線	100mごと	50mごと	—————
主曲線	20mごと	10mごと	—————

○地形図の使い方③～新旧の地形図の比較～

地形図は、明治時代から何年かおきに作成

→地域の現在と昔の様子を比較することができる

○地形図の使い方④～「地理院地図」～

国土地理院では、インターネット上に電子国土基本図を公開

→「地理院地図(電子国土Web)」というサイトで閲覧できる